

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語 I
科目基礎情報					
科目番号	2018-247		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『国語総合 現代文編』（東京書籍）、『学習課題ノート現代文編』（東京書籍）、『新訂最新国語便覧』（浜島書店）、国語辞典（各自所有のものでよい）				
担当教員	芳賀 多美子				
到達目標					
1. 論理的文章の読解を通して、論理的な思考方法および表現法を把握し、自分なりに考えることができる。 2. 文芸的文章の読解を通して、すぐれた表現に着目しつつ、作品の背景やその舞台設定、および作中人物の心情や行動の変化を把握することができる。 3. 詩歌（現代詩・短歌など）の読解・鑑賞を通して、想像力や感じ取る力を磨き、伝統的な言語文化に興味・関心を持つことができる。 4. わが国の言語文化に関心を持ち、自身の興味・関心に沿って主体的に読書を行うことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	論理的文章の読解を通して、論理的な思考方法および表現法を高い水準で把握し、自分なりに考えることができる。		論理的文章の読解を通して、論理的な思考方法および表現法を把握し、自分なりに考えることができる。		論理的文章の読解を通して、論理的な思考方法および表現法を把握し、自分なりに考えることができない。
評価項目2	文芸的文章の読解を通して、すぐれた表現に着目しつつ、作品の背景やその舞台設定、および作中人物の心情や行動の変化を高い水準で把握することができる。		文芸的文章の読解を通して、すぐれた表現に着目しつつ、作品の背景やその舞台設定、および作中人物の心情や行動の変化を把握することができる。		文芸的文章の読解を通して、すぐれた表現に着目しつつ、作品の背景やその舞台設定、および作中人物の心情や行動の変化を把握することができない。
評価項目3	詩歌（短歌、俳句）の読解・鑑賞を通して、想像力や感じ取る力を能動的に磨き、伝統的な言語文化に高い興味・関心を持つことができる。		詩歌（短歌、俳句）の読解・鑑賞を通して、想像力や感じ取る力を磨き、伝統的な言語文化に興味・関心を持つことができる。		詩歌（短歌、俳句）の読解・鑑賞を通して、想像力や感じ取る力を磨き、伝統的な言語文化に興味・関心を持つことができない。
評価項目4	わが国の言語文化に高い水準に関心を持ち、自身の興味・関心に沿って主体的に読書を行うことができる。		わが国の言語文化に関心を持ち、自身の興味・関心に沿って主体的に読書を行うことができる。		わが国の言語文化に関心を持ち、自身の興味・関心に沿って主体的に読書を行うことができない。
学科の到達目標項目との関係					
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4					
教育方法等					
概要	国語を的確に理解し、適切に表現する能力を育成する。思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかる態度を育てる。				
授業の進め方・方法	基本的に講義形式で行う。評論・小説・随想・韻文（詩歌）をバランス良く扱い、テキスト載録作品の読解を通して、それぞれの読解上の注意点や味読のポイントを確認する。また適宜学習課題ノートを用い、問題演習を通して知識の定着をはかる。基本的な漢字や語彙については小テストで知識定着の確認を行う場合もある。				
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス説明／図書館利用オリエンテーション	自らの目的に応じて、図書の検索、および印刷物を通じての情報収集・分析を行うことができる。	
		2週	評論「技術が道徳を代行する時」池内了	論理的文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。本文中の常用漢字について正しく読み書きできる。	
		3週	評論「技術が道徳を代行する時」池内了	論理的文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	
		4週	小説「羅生門」芥川龍之介 参考：『今昔物語集』	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとることができる。本文中の常用漢字を正しく読み書きできる。	
		5週	小説「羅生門」芥川龍之介 参考：『今昔物語集』	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		6週	小説「羅生門」芥川龍之介 参考：『今昔物語集』	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		7週	随想「少女たちの「ひろしま」」梯久美子	随想を読み、そこに描かれたものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。本文中の常用漢字を正しく読み書きできる。	
		8週	随想「少女たちの「ひろしま」」梯久美子	随想を読み、そこに描かれたものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
	2ndQ	9週	評論「〈顔〉という現象」鷺田清一	評論の論理展開に配慮し、文章表現に即して正確に主題・構成・展開を的確にとらえ、要約できる。	
		10週	評論「〈顔〉という現象」鷺田清一	評論に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	
		11週	詩歌 室生犀星（「小景異情」） ほか	詩歌特有の表現を理解し、そこに描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	

後期		12週	詩歌 室生犀星（「小景異情」） ほか	詩歌特有の表現を理解し、そこに描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
		13週	小説「城の崎にて」志賀直哉	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとることができる。本文中の常用漢字の音訓を正しく使い、書くことができる。
		14週	小説「城の崎にて」志賀直哉	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとり、自分の意見を述べることができる。
		15週	小説「城の崎にて」志賀直哉	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとり、自分の意見を述べることができる。
		16週		
	3rdQ	1週	言語活動	情報を収集して分析整理し、構成を工夫して文章作成・口頭発表ができる。根拠にもとづいて議論し、新たな発想や他者の視点の理解に努め、集団としての思いや考えをまとめることができる。
		2週	随想「蟬と日本語」小池昌代	随想を読み、そこに描かれたものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。本文中の常用漢字を正しく読み書きできる。
		3週	評論「メディアがつくる身体」荻上チキ	評論の論理展開に配慮し、文章表現に即して正確に主題・構成・展開を的確にとらえ、要約できる。
		4週	評論「メディアがつくる身体」荻上チキ	評論の論理展開に配慮し、表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。
		5週	評論「メディアがつくる身体」荻上チキ	評論の論理展開に配慮し、表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。
		6週	小説「鏡」村上春樹	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。本文中の常用漢字の音訓を正しく使い、書くことができる。
		7週	小説「鏡」村上春樹	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとることができる。
		8週	小説「鏡」村上春樹	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
	4thQ	9週	詩歌「十五の心——短歌抄」 石川啄木ほか	短歌を読み、そこに描かれたものの見方や感じ方に興味・関心を広げることができる。本文中の常用漢字の音訓を正しく使い、書くことができる。
		10週	詩歌「十五の心——短歌抄」 石川啄木ほか	短歌を読み、そこに描かれたものの見方や感じ方に興味・関心を広げ、自分の意見を述べることができる。
		11週	詩歌「十五の心——短歌抄」 石川啄木ほか	短歌を読み、そこに描かれたものの見方や感じ方に興味・関心を広げ、自分の意見を述べることができる。
		12週	小説「富嶽百景」太宰治	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとることができる。本文中の常用漢字の音訓を正しく使い、書くことができる。
		13週	小説「富嶽百景」太宰治	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとり、自分の意見を述べることができる。
		14週	小説「富嶽百景」太宰治	小説に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとり、自分の意見を述べることができる。
		15週	言語活動	社会生活で用いられる類義語・対義語・故事成語を正しく理解し用いることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	前2,前9,後3
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	前3,前10,後4,後5
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	1	前4,前5,前6,前7,前8,前11,前12,前13,前14,前15,後2,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後14
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	前2,前4,前7,前13,後6,後9,後12
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	後15
				社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	1	後15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	前2
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	後1

				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	前1,後1
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	後1
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	後1
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	後1
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	後1
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	後1
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	後1
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	1	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	1	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	1	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	1	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	1	

評価割合

	試験	授業内課題	授業外課題	態度	合計
総合評価割合	70	10	10	10	100
基礎的能力	70	10	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0